

JAAF SHIMANE

島根陸協だより



第9号

一般財団法人島根陸上競技協会は各競技団体と協力し、陸上競技を通じてスポーツ文化の普及と振興を図り、県民の心身の健全な発達と豊かな人間性を育てるための活動を行っています。

発行：島根陸上競技協会総務委員会広報部 2015年10月20日発行

一般財団法人 島根陸上競技協会

〒690-0015 松江市上乃木十丁目4番1号（松江市宮陸上競技場内） TEL/FAX：0852-23-6686 ホームページ：http://www.shimariku.jp

青山聖佳選手 大活躍 日本新記録 達成

世界陸上 4×400mリレー 3分28秒91

世界陸上、8月29日のレース青山聖佳選手（松江商高出身・大阪成蹊大）は4×400mリレーの第1走者として、「鳥の巣」（北京国家スタジアム）のスタートラインに立ちました。スタート直後から積極的な走りを見せ、ラップタイムも52秒台と日本チームの日本記録達成の原動力になる活躍をしました。世界のレベルは高く、予選通過はできませんでしたが、記録達成を確認した瞬間は、他のメンバーと一緒に笑顔いっぱい嬉しむ姿が見られました。

日本学生陸上競技対校選手権では
個人種目200m・400mの2冠達成

9月11日～13日に長居陸上競技場で行われた日本学生陸上で2冠に輝き、その実力が本物であることを実証しました。（6頁に関連記事）

青山選手のコメント

今回は本当にあっという間のレースでした。気がついたらもうラスト100mで、「粘らなきゃ」と思い走りました。レースの流れはとても良く、ラップタイムもベストでしたが、良くなかった所もあるので修整していければいいと思います。去年からの目標であるジュニア日本新記録の更新と、51秒台を目指してこれからも練習に励んで行きたいと思っています。



北京で日本チームのメンバーと（左端が青山選手）

第58回 松江玉造ハーフマラソン

毎秋恒例の松江玉造ハーフマラソンが9月27日(日)に開催されました。秋晴れの宍道湖畔を1272人(男子1115人、女子157人)が疾走しました。男子総合は大下徹選手(広島)が初優勝を果たしました。レース終盤まで併走した池本大介選手(鳥取)を11秒差で振り切ってゴール。スタートからゴールまで見応えのあるレースが展開されました。女子総合は俵千香選手(福岡)が4年ぶりの優勝となりました。昨年の優勝タイムを5分以上も上回る好タイムでの勝利となりました。スタートから気温23度を超え、太陽が照りつける暑さの中でのレースとなりましたが、参加者それぞれが目標に向かって自分の走りをして、充実した表情でのゴールとなりました。

総合成績

男子

1位	大下 徹	福山市陸協	(広島)	1時間 09分 39秒
2位	池本 大介	自衛隊米子	(鳥取)	1時間 09分 50秒
3位	平賀内章久	呉市陸協	(広島)	1時間 10分 15秒
4位	山吹 彰	鹿足郡陸協	(島根)	1時間 10分 41秒
5位	兼重 仁彦	宇部市役所	(山口)	1時間 10分 51秒
6位	磯村 俊祐	東ソー	(山口)	1時間 11分 04秒
7位	藤野 浩一	広島市陸協	(広島)	1時間 12分 20秒
8位	加藤 輝一		(山口)	1時間 12分 52秒



女子

1位	俵 千香	TEAM R×L	(福岡)	1時間 20分 59秒
2位	天野 美絵		(京都)	1時間 21分 58秒
3位	吉村 友香		(島根)	1時間 26分 10秒
4位	山本沙也佳	下松市陸協	(山口)	1時間 26分 35秒
5位	吉光 和恵		(岡山)	1時間 28分 39秒
6位	伊藤有美子	広島疾走クラブ	(広島)	1時間 29分 33秒
7位	塩見 志保	チーム全力少年	(鳥取)	1時間 30分 04秒
8位	山下やすこ	岡山陸協	(岡山)	1時間 30分 33秒



島根県勢のトップは男女とも中学校の先生

島根県勢のトップは男子が総合4位の山吹彰選手、女子のトップは総合3位の吉村友香選手でした。山吹さんは2部30代の部で優勝、吉村さんは8部40代の部で大会新での優勝。両選手とも、県西部の中学校の先生でした。



県勢トップでゴールした山吹選手(左)と吉村選手(右)



スタートの様子



続々とゴールする選手たち

大会の様子



完走証を受け取る選手の皆さん



ゴール後にしじみ汁を堪能する選手の皆さん

H27年度一般財団法人島根陸上競技協会賛助会員の募集について

島根陸上競技協会では、活動に賛同し援助していただける賛助会員（団体・個人）を募集いたします。年度ごとの会費を納めていただくと賛助会員として登録され、会員には広報紙の配布や5口以上の企業・団体会員については県陸協主催大会のプログラムへの広告掲載などの特典があります。

本協会のホームページに掲載の趣意書をご覧ください、下記の要領でご入会ください。詳細につきましては事務局までお問い合わせください。たくさんの方のご支援をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

記

1. 年会費 個人会員 年額 2,000円を1口として、1口以上
企業・団体会員 年額10,000円を1口として、1口以上
2. 申込期間 平成28年3月31日まで
3. 払込方法 郵便局での払込 別紙払込取扱票をご利用下さい。(払込料不要)
直接支払 協会事務局にご持参下さい。

事務局 〒690-0015 松江市上乃木十丁目4番1号
(松江市営陸上競技場内)

TEL/FAX 0852-23-6686

ホームページ <http://www.shimariku.jp>

大会報告（島根陸上競技協会主催大会）

第70回 宍道湖一周駅伝競走大会 4月5日

第70回を迎える今回は、昨年の全国高校駅伝の覇者世羅高校（広島）を招待し、松江市営陸上競技場発着のコースで行われました。3部門合わせて56チーム（オープン参加3チームを含む）の参加、ホシザキ電機が総合優勝を勝ち取りました。昨年度優勝の自衛隊米子は、1区での出遅れが響き、1度も先頭に立つことなく2位に終わりました。また、各部門優勝は、1部（市町村対抗）松江市、2部（団体対抗）自衛隊米子、3部（高校対抗）平田高校が優勝を果たしました。最優秀選手には、1部は小林慶一郎選手（松江市）、2部は石田準選手（ホシザキ電機）、芦田隼人選手（平田高）が選ばれました。



1部優勝 松江市



2部優勝 ホシザキ電機



3部優勝 平田高校



1部ゴール



2部ゴール



3部ゴール



招待チーム 世羅高校のゴール

第98回 全山陰陸上競技大会

4月25日・26日に松江市営陸上競技場で行われました。今年度の本格的なトラックシーズンに向けて山陰両県の小学生から一般まで、多くの選手が競い合いました。以下の大会記録が誕生しています。

中学男子 110mH
遠所勇歩（松江四中）14秒90（+2.0m）
一般男子ハンマー投
松田 堯（BMAC）57m13
一般女子 400m
福田翔子（松江北高）56秒97

第69回 島根陸上競技選手権大会

5月3日・4日に行われました。例年益田で行われているこの大会ですが、今年度は浜山運動公園陸上競技場での開催になりました。今年度は、大会記録を更新する種目が少なく、県全体の競技力向上を図る必要性を感じさせる大会になりました。以下の大会記録が誕生しました。

男子 5000mW
泉 健太（松江北高）21分32秒41
月輪浩之（島根AC）22分52秒58

全国の舞台で活躍した 島根の小学・中学・高校生
この夏に行われた全国大会で島根県の学生選手が上位入賞を果たしました。

全国小学生陸上競技交流大会

8月22日 日産スタジアム (横浜)

浜田JASの尾崎選手が走高跳で優勝！ 女子3種目で8位以内入賞！



女子走高跳
尾崎千里 (浜田JAS)
1位 1m38



女子走幅跳
山尾美来 (浜田JAS)
6位 4m54 (-0.4m)



女子ソフトボール投
安食沙南 (松江陸上教室)
8位 56m18

全日本中学校陸上競技選手権大会

8月18日～21日 北海道・札幌
遠所勇歩選手が3位入賞！

男子110mH
遠所勇歩 (松江四中)
3位 14秒30 (-0.5m)



全国高等学校総合体育大会 陸上競技

7月29日～8月2日 和歌山・紀三井寺
福田選手が昨年の長崎国体に続き入賞！

女子800m
福田翔子 (松江北)
5位 2分08秒20



女子800m 白いユニフォームが福田選手

日本学生陸上競技対校選手権大会

9月11日～13日 大阪・ヤンマースタジアム

島根出身の大学生が大活躍！ 6種目で入賞 青山選手は200m・400mの2冠

男子10000m	佐藤孝哉 (山梨学院大・出雲工高出身)	8位	28分58秒05
男子110mH	矢田 弦 (東京学芸大・松江北高出身)	4位	13秒98 (+0.4m)
男子棒高跳	来間弘樹 (順天堂大・大社高出身)	6位	5m10
男子やり投	松谷昂星 (九州共立大・浜田商高出身)	7位	71m53
女子200m	青山聖佳 (大阪成蹊大・松江商高出身)	1位	23秒81 (-0.2m)
女子400m	青山聖佳 (大阪成蹊大・松江商高出身)	1位	53秒33



2015 紀の国 和歌山国体 島根県選手大活躍

6種目で入賞
競技別総合成績 天皇杯21位 皇后杯16位

10月2日～6日に行われた紀の国和歌山国体で、島根県の選手が6種目で入賞を果たし、競技別の総合成績で天皇杯21位、皇后杯16位と大健闘し、国体全体の総合順位の押し上げに大きく貢献しました。世界陸上に1600mリレーで出場し、日本記録を更新した青山聖佳選手は、成年女子400mで貫禄の優勝。成年男子の走高跳、少年共通女子800mとやり投で2位に入賞するなど好成績を残しました。

入賞者の成績

男子

成年	110mハードル	矢田 弦	5位	13秒95	風:+1.4m
成年	走高跳	石橋 健	2位	2m21	
少年B	110mハードル	勝田 築	4位	14秒36	風:+1.8m

女子

成年	400m	青山 聖佳	1位	53秒75	
少年共通	800m	福田 翔子	2位	2分07秒35	
少年共通	やり投	武田伽奈子	5位	47m95	



矢田 弦選手



石橋 健選手



勝田 築選手



青山聖佳選手



福田翔子選手



武田伽奈子選手